

静岡県東部医療経営研究会

第1部 気候変動による疾病負荷の変化と医療環境の転換

気候変動は、冬季の心血管疾患による死亡者を減少させる一方で、夏季の暑熱関連死亡と救急搬送患者を増加させます。2024年5月には、WHOが主導する「気候変動と健康に関する変革的行動のためのアライアンス（ATACH: Alliance for Transformative Action on Health）」に日本政府も加盟しました。今後、医療機関の経営においても、環境負荷の低減と気候変動（災害含む）に強い保健医療体制の構築が求められる可能性が高いです。今回は、2100年にかけてどのように疾病負荷が変化するのか、また医療機関の経営にどのような影響が考えられるかという点についてお話しします。

講師 日本医療政策機構 鈴木 秀 氏

国立看護大学校にて看護師免許を取得。卒業後は、東京大学大学院地域看護学分野修士課程に進学し保健師免許を取得。修士課程を中退した後、静岡県に保健師として入職。保健所では、主に精神保健福祉分野で精神科救急医療体制整備や高次脳機能障害等の業務に従事した。日本医療政策機構では、プラネタリーヘルスに関するプロジェクトを担当し、「気候変動・生物多様性・環境汚染と健康」というトピックに関して、調査や政策提言活動を行っている。

第2部 働く年齢が高くなる日本 健康診断の役割の変化

第3部 地球の病院の歩き方 第4弾：韓国美容整形事情

日時 2025年1月10日（金）19:00～20:30

会場 岡村記念病院 会議室

対象 医療介護業界どなたでも・・・

申込 2025年1月8日（水）

岡村記念病院企画田中 TEL055-991-1125 tanaka@okamura.or.jp